

地域住民・行政の協働で

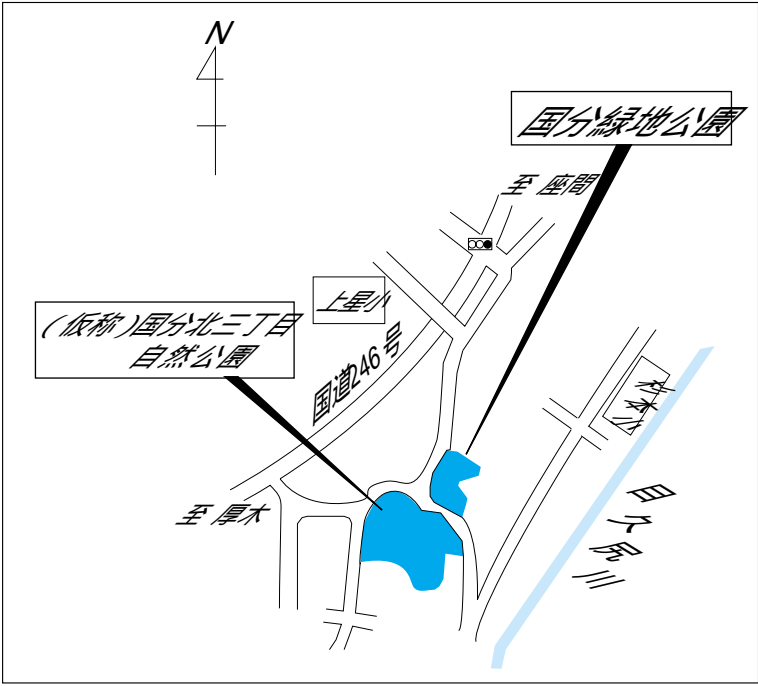
# 愛着のもてる公園づくり

公園を地域の住民から愛され、親しまれながら利用してもらうためには、実際に利用する人と市と一緒に公園づくりをすれば良いのでは…。  
このような発想から、現在市では、国分北三・四丁目地区で市民参加によるワークショップ方式(※)での公園づくりに取り組んでいます。市では初めての試みとなるこの方式での公園づくりの様子を紹介します。

## 市初めての試み「ワークショップ方式」始まる

※ワークショップとは、もとは工房や仕事場という意味ですが、いろいろアイデア出し合い目標達成

いろいろな人が集まって目標の達成に向けてアイデアを出し合い、意見を一つにまとめていく集まりのことです。



## 国分北三丁目自然公園・国分緑地公園整備で

●公園用地の概要  
平成7年度から8年度にかけて国分北三丁目内に取得した公園用地(6106平方メートル)と、隣接する国分緑地公園(既設・3785平方メートル)を公園として一体的に整備するものです(上地図参照)。  
都市化とともに良好な自然環境が減少している中で、市街地の貴重な緑を保全して、人びとが自然環境と身近に触れ合うことのできる公園として整備します。

●地区在住者がメンバー  
参加メンバーは、公園予定地周辺の国分北三丁目自治会(488世帯)と国分杉本自治会(233世帯)の地区在住の方から参加を募っています。

●ワークショップは全6回  
ワークショップは全部で6回、これまでに2回開催され、延べ51人が参加しました。  
第1回は7月22日に行われ、市民参加によるワークショップ手法や、近隣市での先進事例などを学びました。  
8月26日の第2回では、「公園はどんな場所?」をテーマに、予定地はどんな場所なのか、どんなことができるかを考えるため、実際に現場を歩き、感想などを話し合いました。参加者からは「自然が豊か」「意外と広い」「木が多くて少し怖い」「起伏があつてながめも良い」「池も欲しい」などさまざまな感想があげられました。

●デザインも考えます  
公園完成までのワークショップスケジュールは以下のとおりです。  
第3回(9月下旬)「こんな公園にしたい」(公園イメージを考えます)  
第4回(10月下旬)「公園をデザインしよう」(デザインを考えます)  
第5回(11月下旬)「公園デザインをチェック」(公園デザインの出来上りをチェックします)  
第6回(平成13年1月下旬)「公園ができた後は?」(公園完成後の利用方法などを考えます)  
今後の公園づくりに生かします  
行政への市民参加の重要性が増している現在、多様化する市

## 企画段階から市民の参加



公園はこんなところ

メンバーは実際の用地を歩き、感想などを話し合った(8月26日、第2回ワークショップで)



## JR相模線 中野第二踏切を拡幅

工期は今月下旬から11月末まで

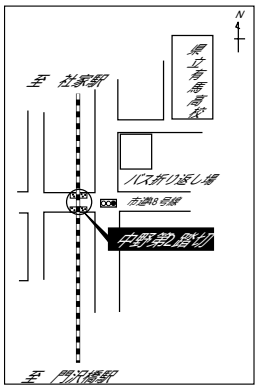
うなどに協力

市では踏切道の安全対策事業として、JR相模線中野第二踏切の拡幅工事を行います。

この工事は同踏切を車道幅約6.5mに拡幅し、またその両側に幅約1.5mの歩道を設置するものです。

この踏切は、中野地区の幹線道路である市道48号線上に位置し、1日約4000台の車が通行します。また、門沢橋小学校の通学路に指定されていますが踏切内の幅が4.5mと狭く、自動車のすれ違いもままならない状態で歩道もありません。

このため、以前から多くの地域住民の方から踏切拡幅の要望をいただいていたのですが、このたび東日本旅



中野第二踏切。歩道もなく、普通自動車ですれ違うのがやっと

民ニーズにどのように対応し、合意形成していくかは行政の大きな課題です。従来のスタイルを変え、計画・企画段階から市民と行政がともに考えてさまざまな課題を解決していく協働型の行政システムの確立が求められています。

これまで述べたような、ワークショップ方式での公園づくりでは、計画段階から地域住民の方が参加することが出来ます。住民と行政がともに計画を立てて整備することで、地域の人たちは従来の「市が計画を立て、周辺住民は出来上がっ

### 歩行者・自動車の安全対策すすめ

市内には、鉄道3線に42箇所踏切道があり、それらが渋滞などの交通阻害要因を持つことや危険性が大きいことが以前から問題となっています。

特に踏切事故は、一度発生すると人的・物的損失が非常に大きく、多方面にわたって影響が生じます。このため、通行する歩行者や自動車の安全対策として、鉄道の立体交差化や踏切道の拡幅・統廃合などの事業に取り組んでいきますので、市民のみなさんのご理解、ご協力をお願いいたします。

▽問い合わせ 道路整備課内583。

た計画案に対して欠点を指摘する「方法」よりも、公園に一層の愛着を持つことが出来ます。

市では今後の公園づくりにもこの試みを生かしていく予定です。

▽問い合わせ 公園緑地課(内623)。

客鉄道(横濱支社)との間で協議が整い、着工することになりました。

工事期間は今月下旬から今年11月末までを予定しています。

期間中は、夜間通行止めなどの交通規制を行います。通行の際は誘導員の案内に従ってう回すなどの措置にご協力くださるようお願いいたします。

また、市では危険な踏切道の改良に向けて、平成9年度から鉄道関連道路施設整備事業に取り組んでいます。今年度は、上野第一踏切(市道14号線)の歩道設置も予定しています。

